

お問い合わせフォーム等受付分： 公共施設再編アクションプラン案へのご意見・ご質問に対する回答(9・10月)

◎窓口・FAX・メール・お問い合わせフォーム等にお寄せいただいたご意見・ご質問について受け付けた順に掲載しています。

No.	ご意見・ご質問の内容	回 答
26	説明会ご苦労様です。各施設は不要とは思いませんが、細部での役割は見直しにより終了や集約が必要と思います。この度のプラン案は今後の加茂市民の恩恵と負担に重要と思います。スタッフの尽力に期待します。	本アクションプラン案へのご理解をいただき誠にありがとうございます。アクションプランの実現には市民の皆さまの理解や後押し、民間事業者との連携や協力が必要不可欠です。持続可能で住みよい加茂市の未来のために引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
27	今、義務教育小中9年制をとっている自治体もあると聞きます。これからの少子化を考えると、それを踏まえて新しい校舎を作ることともいかがかと思います。	<p>学校の統合を検討する際には、「小中一貫校」の導入についても議論の対象となりました。加茂市立小中学校適正化方針の策定に際し、教育委員会の諮問機関である加茂市立小中学校適正規模等検討委員会において「小中一貫教育」についても議論を重ね、三条市立嵐南小学校・第一中学校のように、独立した小学校と中学校を同じ敷地に併設するケースや、三条市立大崎学園のように、9年間を一つの学校として柔軟なカリキュラムを編成する「義務教育学校」を研究し、メリット・デメリットを整理した上で十分な検討を実施しました。</p> <p>その結果、加茂市においては小学校と中学校を連携させながらも別々の学校とする方法が望ましいとの意見が大勢を占めたことから、現時点では、小中一貫校の導入を進めてはいません。</p> <p>しかしながら、検討当時の想定を上回る出生数の減少を受け、将来的に小学校は2校から1校へ統合したり、中学校の新校舎建設時に小学校を併設したりすることも視野に入れる必要がありますので、その際には小中一貫教育等の実施の必要性についても改めて考えていきます。</p>
28	本日、市長自ら再編プランのご説明をいただき、誠にありがとうございます。ご説明の最後にありますように、今は多少の無理があっても「生まれ来る子どもたちのため、100年続く加茂市の未来のため」に「加茂に住みたい」と言われるよう再編をよろしくお願いいたします。	本アクションプラン案へのご理解をいただき誠にありがとうございます。加茂市に生まれる子どもたちのため、また100年続く加茂市の未来のために、行政として今できることを一つ一つ積み上げてまいりますので、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

お問い合わせフォーム等受付分： 公共施設再編アクションプラン案へのご意見・ご質問に対する回答(9・10月)

◎窓口・FAX・メール・お問い合わせフォーム等にお寄せいただいたご意見・ご質問について受け付けた順に掲載しています。

No.	ご意見・ご質問の内容	回 答
29	公共施設再編については賛成ですが、再編すると市民の負担が減るとありますがどのような負担が減りますか。(市民税？住民税？)	<p>ご質問をいただきありがとうございます。市民負担の軽減の考え方についてですが、公共施設を再編することで現在の個人の住民税等が減額となるものではありませんのでその点についてはご理解ください。</p> <p>公共施設を維持するには修繕費・設備更新費・光熱水費・清掃警備等委託費・人件費等が必要で、それらはすべて主に市民の皆さまからご負担いただく税金で賄われています。そして老朽化した施設を維持し続けるということは、そのすべてに今後も税金を投入し続ける必要があるということです。一方で、限られた財源の中ですべてを維持するための余力がなく、十分な措置を講じることができなければ、施設の機能性や安全性が損なわれていき、市民の皆さまにとって不利益が生じる恐れがあります。</p> <p>しかしながら、機能等を集約し施設数を縮小できれば毎年掛かる維持経費が削減されるため、その分税金を投資する額が将来的にも抑えられます。その点において、施設を維持するために必要な市民一人当たりの負担額が削減されるという考えです。なお、削減された分を継続する施設・設備の改修費やその他人口減少対策費などに充てることが可能となるため、持続可能で住みよい加茂市のためへの投資が可能となります。</p>